

【中期学校経営方針「健やかな体」達成目標】 ◎ 保健体育科でのランニングや補強運動等の取り組みを柱とし、家庭科での食育や理科での環境教育などを通して課題解決の力を育てています。

<生徒の体育・健康面の姿>

- ・体格は全国平均並みである。新体力テストの結果は握力、持久力の結果が全国平均を下回っている。また本校の特徴として、1年生では全国平均を大きく下回るものの、学年を追うごとに平均に近づき、3年生では男女とも、各種目ともほぼ平均、ハンドボール投げは平均以上となっている。
- ・運動部の加入率は、比較的高い値である。ほとんどの生徒が毎日活動しており、運動部の活動による体力の向上への効果は大きいと考えられる。
- ・朝食の摂取率は毎日食べている生徒はかなりの多いが、高学年になるにつれて、摂取率が低くなっている。

<体育・健康に関する指導の目標・方針>

- ・自己の心や体の健康に関心を持ち、生活習慣や心身の成長の正しい知識を身につけながら自律的に健康管理ができるよう力を育てます。
- ・健康や体力に関心を持ち、体力向上の必要性を考え、自ら運動に親しみ実践する態度を育てます。
- ・仲間との豊かな関わりを通じて、学びあい教えあう態度を育てるとともに、共に課題を解決できる力を育てます。

教科

《体育科・保健体育科での取組》

- ・授業の最初に行うランニング・補強運動で、継続的に体力向上を図る。
- ・学びあい・教えあいことにより、協力しながら運動を行うことの楽しさを学び、生涯にわたり運動に親しむ力を育てる。

《他教科での取組》

- ・家庭科では、食教育との関連を図り、健康的な生活を送るための基盤となる資質を育てる。
- ・理科では、環境や栄養への関心を高め、身近な環境問題や健康への影響についての知識を育てる。

道徳・特活・総合

- ・体育祭では、保健体育科で培った資質能力を発展させながら集団的な体育活動への関心・意欲を育てる。また、「大縄跳び」への取り組みを委員会から投げかけ、実践する力を育てる。
- ・球技大会に向けて、昼休みの練習に自主的に取り組めるように委員会から投げかけ、実践する力を育てる。
- ・生活委員会による昼休みのボールの貸し出しと生徒への外遊びの推進を行う。
- ・小学校栄養教諭と連携して、食事の重要性を理解するとともに、食事の喜び、楽しさを感じる心を育てる。

- ・運動部の活動を推進する。
- ・学校保健委員会において、健康の保持増進に関する取り組みを推進する。

課外活動

平成 28 年度 横浜市立橋中学校 体力向上 1 校 1 実践運動

《名 称》 体育行事の充実を図る

《ね ら い》 運動の機会の確保、自ら運動に親しむ意識の向上、仲間との協力

《内 容》 体育祭、球技大会を生徒の委員会中心に企画運営し、朝、昼休み、放課後と自分達で呼びかけながら運動を実践して体力の向上を図る。また、仲間と共に運動を行うことの楽しさを味わう。

《行 事 例》 前期：体育祭 後期：球技大会 通年：学級委員会などが企画する学年レク

- 指 標 1 行事後の振り返りアンケート「事前の取組」「満足感、達成度」
- 2 生活実態調査「運動やスポーツの実施状況」「1日の運動・スポーツの実施時間」